

基本目標3 「潤い・快適・活力」のにぎわいのまち

分野別政策8 豊かな自然と暮らしが調和する環境づくり

施策 No. 24 魅力的な景観の形成

10年後のめざす姿 市民との協働の取り組みにより、地域の資源が守り、活かされ、自然景観と歴史的景観が調和した、潤いの感じられる美しい景観が形成されています。

住みよさ指標	当初	単位	実績値の推移					目標値 (H37)	評価	
			H28	H29	H30	H31	H32			
1 「まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ」に関する市民満足度	40.3	%	目標値	41.0	35.0			45.0	50.0	↓
			実績値	31.1						
2 景観に関するルールの策定件数	0	件	目標値	0	1			1	2	○
			実績値	0						

総合評価	住みよさ指標の状況
C	市民満足度は低下した。これは社会情勢の変化の影響によるものと考えられる。
施策を構成する事業の状況	
高野街道沿道における地域の自主的な景観保全の方向性を確認し、景観に関するルール策定に向け機運は醸成されつつある。	

これまでの取組み	高野街道沿道における景観に関するルール策定をめざし、地元自治会との協議を進めている。
課題 (めざす姿との差)	高野街道沿道における景観に関するルール策定について、地域の合意形成。
今後の方向性	今後も景観に関する意識や機運の醸成を行い、景観の保全・活用に向けた地域の自主的な仕組みづくりを支援する。